

熊野警察署協議会議事録

令和7年度第3回熊野警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年12月4日（木）午後3時～午後4時 熊野警察署3階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 4名 濱口千穂委員、上林和弘委員、北野裕規委員、林恵子委員</p> <p>2 警察署 7名 署長、副署長、会計課長、生活安全刑事課長、 地域交通課長、警務係長、警備係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 警察署長挨拶	
2 管内概況等の説明	
(1) 管内治安情勢	
(2) 交通事故情勢	
3 交通安全教育シミュレータ体験	
4 協議内容	
<委員> 高齢者マークは、何歳から車両に取り付けなければならないのか。取り付けることは義務なのか。	
【署長】 70歳からで、努力義務である。	
<委員> 信号機について、設置及び撤去の基準があると思うが、信号機がなくなると住民としては不安である。新設の要望等には柔軟に対応してほしい。	
【署長】 全ての要望に応えることはできないかもしれないが、要望を上げていただくのは大事なことなので、どんどん要望を上げてほしい。	
<委員> 私有地に勝手に車両を止められた場合、警察はどこまで対応してくれるのか。	
【署長】 私有地である場合、道路交通法での検挙はできないが、車両の所有者への連絡を試みるなど、可能な限り対応する。	
<委員> 外国人が多くなってきたが、外国人による犯罪は増えているのか。	
【署長】 現時点、当署管内において外国人犯罪が増加しているという状況はない。	
5 警察署長謝辞	
備 考	報道機関2社2名